

編集後記

第2号は創刊号に準じた構成ですが、特別講演が3つ、しかも図表の数が多いため、創刊号に比較してページ数が増加しています。「テープおこし」をそのまま講演録とすると読みにくくなるため、講師の先生方にはご多忙中にもかかわらず大幅な修正をしていただきました。そのため、読者にとってわかりやすくなったのではないかと考えております。

放射線障害防止法の改正は予定されていたよりもかなり遅れて、平成12年10月23日にやっと発令されました。ICRP1990年勧告の取り入れ等による法改正ですが、用語、被ばく線量限度、管理区域に係る基準などが変更となり、より厳しい管理が要求されます。RIの取扱者には余り影響はありませんが、放射線管理者にとってはその対応がかなり大変です。平成13年4月1日の施行に合わせて、とりあえず放射線障害予防規定の改正、しゃへい・排水・排気能力の再計算を行う必要があります。しかし、人事院規則10-5及び電離則の改正が遅れており、また「放射線施設のしゃへい計算実務マニュアル」がまだ発行されていないため、どこの事業所の放射線取扱主任者・放射線管理担当者も困惑しているのが実状かと思われます。本研究会では、平成13年1月13日(土)に法改正に伴う実務勉強会を開催する予定です。この勉強会には、国公立の大学だけでなく、本年度より加入した自治体・民間企業等の放射線施設の会員が参加することになっています。できるだけ多くの会員の参加の基に、成果があがることが期待されます。

(H・M)

北陸地域アイソトープ研究会誌

The Hokuriku Journal of Radioisotope Research

第2号 2000年12月1日発行

編集・発行 北陸地域アイソトープ研究会

〒920-8640 金沢市宝町13番1号

金沢大学アイソトープ総合センター内

電話 076(265)2471

FAX 076(234)4245

※ 北陸地域アイソトープ研究会誌は、全編集ページをApple Macintoshと各種DTPソフトを使用して作成し、イメージセッターで出力して刊行しています。

印刷 田中昭文堂印刷株式会社

〒920-0377 金沢市打木町東1448番地